

# トヨタ純正

## スチールチェーン、合金鋼チェーン (トリプル形)

### 取付要領書

このたびは、トヨタ純正スチールチェーン・合金鋼チェーンをお買い上げいただきありがとうございます。本書は、トリプル形の取付要領について記載してあります。

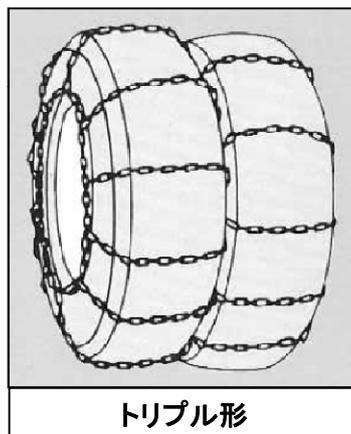
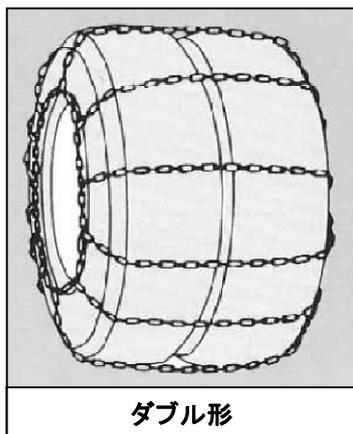
取り付け前に必ずお読みいただき、記載された内容に従って正しい取付を行ってください。

特に、

- ・本品を改造しての取り付けは、絶対に行わないでください。
- ・改造した車両への取り付けは、絶対に行わないでください。
- ・氷雪路での滑り止め以外の目的で使用しないでください。
- ・記載事項を守らなかったために発生した不具合につきましては、責任を負いかねる場合があります。

なお、本書は必ずお客様へお渡しいただき、取扱い上の注意事項を説明してください。

※複輪用チェーンの形状（ダブル形とトリプル形の違い）について  
複輪用（2個連結タイヤ）チェーンは2個のタイヤにまとめて取り付ける  
ダブル形と、各タイヤごとに取り付けるトリプル形の2種類があります。  
本製品はトリプル形となります。



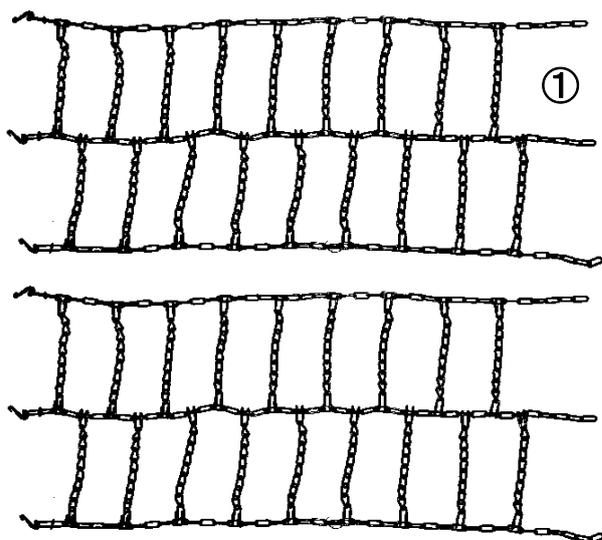
#### お客様へ

ご使用前には、必ず取付要領書をお読みいただき、記載された内容に従って正しくお使いください。本書は紛失しないように車の中に保管して下さい。なお、本品をほかのお客様にお譲りになるときは必ず本書も合わせてお渡しください。

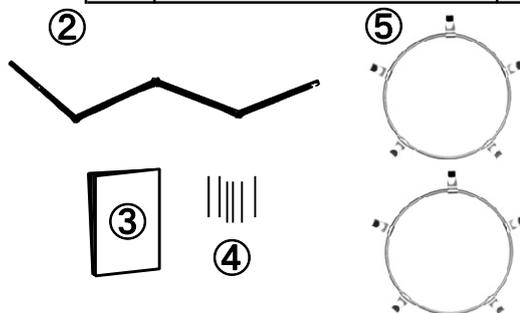
# トヨタ自動車株式会社

## 構成部品

【取り付け前に以下の表に従って部品が揃っているかご確認ください】



NO	品名	個数
①	チェーン本体	2
②	装着アーム	1
③	取付要領書	1
④	針金 (取付要領書同梱)	6
⑤	※ チェーンバンドセット	2



※スチールチェーンのチェーンバンドセットは別売りとなっています。  
トヨタ販売店で必ず同時にお買い求め下さい。

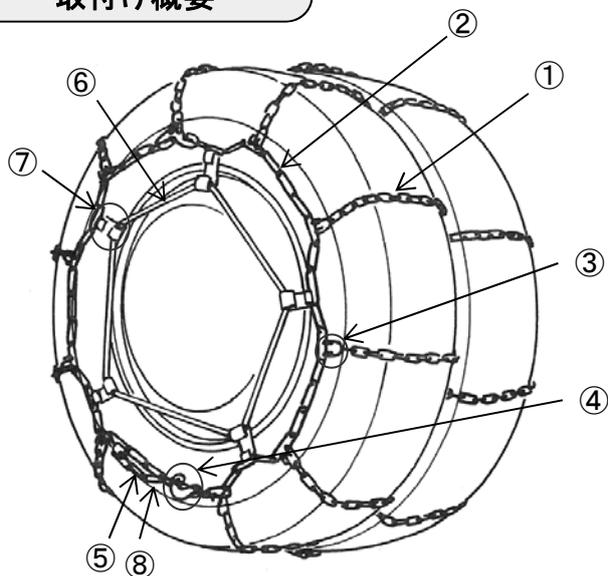
## 取付に必要な工具

- ・装着アーム
- ・ジャッキ (車両搭載工具)

## 取り付け上の注意

- (1) 本文中の**△ご注意** は、必ず厳守してください。もし、**△ご注意** を無視しますと事故につながったり製品の機能阻害、車両故障等の恐れがあります。
- (2) 取付作業を容易に進行するために**▶アドバイス** をお読みください。また、本製品の機能を十分に発揮させるため、**▶アドバイス** を参考に取扱いください。
- (3) 車両部品の取扱いは、車両に傷をつけないように十分注意してください。

## 取り付け概要



- ①クロスチェーン
- ②サイドチェーン
- ③コネクター
- ④板フック
- ⑤調整リンク
- ⑥チェーンバンド
- ⑦クリップ
- ⑧針金

※スチールチェーンの⑥チェーンバンド、  
⑦クリップは別売りとなっています。

## 取り付ける前に

### 1. 車両とタイヤサイズについて

チェーンは必ず購入された車両のタイヤ以外には取り付けないでください。

#### △ご注意

- ・ 購入された車両以外のタイヤに取り付けますと車体及び周辺部品に接触し、チェーン本体の破損、車両の破損、チェーン脱落のおそれがあります。
- ・ 購入された車両のタイヤサイズを変更しますと車体及び周辺部品に接触し、チェーン本体の破損、車両の破損、チェーン脱落のおそれがあります。
- ・ 適用車両と適合タイヤサイズについてはトヨタ販売店に確認ください。
- ・ スタッドレスタイヤ、再生タイヤなど特殊なタイヤについては、本セットが装着できない場合があります。
- ・ スパイクタイヤ、オフロード専用タイヤには使用できません。
- ・ タイヤメーカー、銘柄によっては装着できない場合があります。

### 2. 使用前の装着確認について

チェーンは実際に使用される前に、必ず「取り付け（装着）練習」を行ってください。

#### △ご注意

- ・ 安全に使用するため本取付要領書に従い、問題なく取り付けることができることを確認してください。

### 3. 駆動輪への装着について

チェーンは車両の「取扱書」で確認して、必ず駆動輪に装着してください。

- ・ 前輪駆動車は前輪に装着してください。
- ・ 後輪駆動車は後輪に装着してください。
- ・ 4輪駆動車は車両の「取扱書」で指示している車輪に装着してください。
- ・ 左右同一セットのペアで装着してください。

#### △ご注意

- ・ 駆動輪に装着せず、非駆動輪に装着しては効果が出ないため危険です。
- ・ 片輪のみの装着や異種チェーンの併用は、ブレーキの片効き、運転安定性の低下の原因となりますので危険です。

### 4. チェーンの着脱場所について

チェーンの着脱場所は、他の交通の妨げにならない広い平地か指定された場所で行ってください。

#### △ご注意

- ・ 路上でのチェーンの着脱は他の車両を事故に巻き込むおそれがありますので、絶対に行わないでください。
- ・ 坂路でのチェーンの着脱は、車両が動き出す可能性があり危険ですので絶対に行わないでください。

## 5. 着脱の安全確保について

着脱の際は必ず車両が動かない状態で作業をしてください。

- ・ サイドブレーキを確実に引いて作業を行ってください。
- ・ 着脱中はエンジンを停止して、キーを抜いて作業を行ってください。
- ・ 輪止めを使用してください。

### ⚠️ご注意

- ・ 着脱中に車両が動くと事故のおそれがあります。

## 6. タイヤの空気圧について

チェーンは車両の「取扱書」で確認して、標準空気圧のタイヤに装着してください。

- ・ チェーンが装着しにくくなります。
- ・ チェーンの耐久性が低下します。
- ・ タイヤに傷が付く可能性があります。

## 7. タイヤと車体及び周辺部品のクリアランス(隙間)について

チェーンを装着後にタイヤと車体及び周辺部品のクリアランスがあることを確認してください。誤った取り付け方ではチェーンと車体及び周辺部品が接触する可能性があります。

### ⚠️ご注意

- ・ チェーンが車体及び周辺部品と接触し、チェーン損傷やそれにもなう事故のおそれがあります。

## 8. ジャッキアップについて

ジャッキアップは車両に搭載されたジャッキを使用してください。

### ⚠️ご注意

- ・ ジャッキの取扱いは車両の「取扱書」で確認して安全には十分に注意してください。

## 9. 手袋の着用について

チェーンの取り扱いには、怪我や汚れを防止するために手袋を着用してください。

### ⚠️ご注意

- ・ 手袋を着用しないとチェーンの鋭利な部品により怪我をする可能性があります。

## 10. チェーンによるキズについて

タイヤチェーンを装着して走行すると、アルミホイールやタイヤに傷を付ける場合があります。

### アドバイス

- ・ ホイールキャップは傷付防止のために必ず取り外してください。

## 11. タイヤの摩耗について

タイヤはチェーンを取り付けることによって、擦れて摩耗する場合があります。

### アドバイス

- ・ 特にスタッドレスタイヤへの装着は、必要最小限の使用にとどめる事をおすすめします。

## 走行の注意事項

### 1. 試走行について

装着後は50～200mほど徐行運転を行って、異常がないことを確認してチェーンの増し締めをしてください。(P.11 4項参照)

### △ご注意

- ・ チェーンは試走行後に緩みが発生しますので、再度締め直さないと大変危険です。
- ・ 装着不良による異常音があった場合は装着し直してください。

### 2. 走行速度について

必ず時速30km/h以下で走行してください。

### △ご注意

- ・ 30km/h以上で走行するとチェーンが切断したり、車体に接触したり、横滑りをおこし事故につながる危険があります。

### 3. 空転(タイヤの空転)について

空転は絶対に避けてください。

### △ご注意

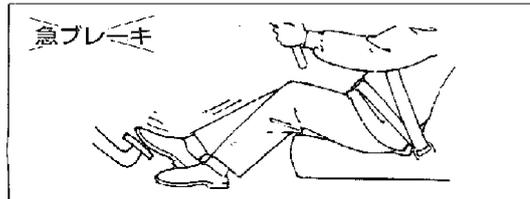
- ・ 車両の制御が効かない状態になり、滑って事故につながる危険があります。
- ・ 空転を行うとチェーンに無理な力が加わり、早期破損の原因になります。

## 4. 急発進、急加速、急ブレーキ、急ハンドルについて

急発進、急加速、急ブレーキ、急ハンドルなどの操作は大変危険です。

### ⚠️ご注意

- ・ 急発進、急加速は空転の原因となり、車両の制御が効かず滑って事故につながる危険があります。
- ・ 急ブレーキはスリップをおこしやすく、事故につながる危険があります。
- ・ 急ハンドルは車両の走行安定が損なわれ、事故につながる危険があります。
- ・ 急発進、急加速、急ブレーキ、急ハンドルを行うとチェーンに無理な力が加わり、早期破損の原因になるため車両を傷付ける場合があります。



## 5. スタック(立ち往生)について

スタックした場合は、むやみに連続空転をさせないでください。

### ⚠️ご注意

- ・ 連続空転を行うとチェーンに無理な力が加わり早期破損の原因になります。

## 走行のポイント

### 1. 発進操作

スタート時はゆっくりとタイヤを転がすようなイメージで発進させてください。

#### 📌アドバイス

- ・ 上り坂での発進は空転しやすいため、平坦路より慎重なアクセル操作が必要です。
- ・ AT車ではクリープ現象（アクセルを踏まなくても動く状態）を長めに使用すると空転せず発進できる場合があります。

### 2. 制動(ブレーキ操作)

雪道では著しく制動距離が長くなります。

#### 📌アドバイス

- ・ エンジンブレーキを十分に使用してください。
- ・ ABS非装着車のブレーキペダル操作は、断続したポンピングブレーキ（踏む⇔離す）が基本です。
- ・ 制動距離は道路状況によって大きく変化しますので、車間距離を十分に保って安全運転を心がけてください。
- ・ ABS（アンチロックブレーキシステム）はブレーキ操作時のタイヤロックを防止し、制動力や車体姿勢を制御する装置ですが、滑りやすい路面ではかえって制動距離が長くなる場合がありますので、早めのブレーキをしてください。

### 3. カーブ

車両が横滑りや尻振りしやすくなります。

#### アドバイス

- ・ エンジンブレーキを使用して曲がる手前で確実にスピードを落としてください。

### 4. わだちに注意

わだち（路面の凹凸）ではハンドルを取られやすいので慎重に操作してください。

#### アドバイス

- ・ 高い速度（高速道路など）で走行中、直線路であっても急に横滑りすることがあります。

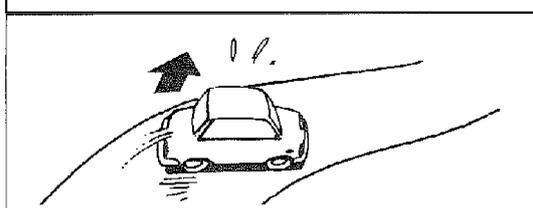
### 5. チェーンを取り付けた車輪による特性

チェーン取り付けタイヤが前輪と後輪で、車の動きが大きく異なります。

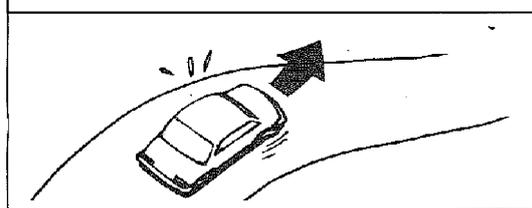
#### アドバイス

- ・ 前輪に取り付けた場合はチェーンを取り付けていない後輪が大変滑りやすく、下り坂やカーブ、ブレーキ操作時に横滑りする危険性があります。
- ・ 後輪に取り付けた場合はチェーンを取り付けていない前輪が大変滑りやすく、ブレーキやハンドル操作が効きにくくなり、カーブでは前輪が滑って外側に大きく膨らむ危険性もあります。

前輪への取り付け



後輪への取り付け



## 取付要領

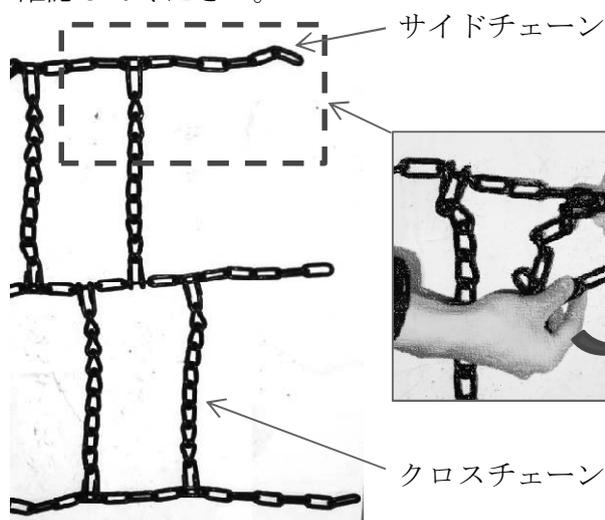
【本取付要領書は右側の取付を示しており左側も同様に取付けてください】

### 1. ジャッキアップ

パーキングブレーキを引きエンジンを止めてシフトレバーをマニュアル車は1速、オートマチック車は「P」（パーキング）の位置にします。車両に搭載されたジャッキを使用して、チェーンを取り付けるタイヤを2～5cm浮かせて下さい。確実に車両を固定するために、輪止めも併用して下さい。

### 2. チェーンのネジレを確認

チェーンを路面に広げて、ネジレのないことを確認します。正常な場合は、サイドチェーンとクロスチェーンのリンクの向きが同一に並びます。ネジれている場合は、サイドチェーンがクロスチェーン間に入り込み、リンクの向きが不均一になります。サイドチェーンの両末端が絡みやすいため、クロスチェーンを取り付けているコネクタ周辺のサイドチェーンを、確実に確認して下さい。



#### アドバイス

- ・ネジれている場合は、左図のようにチェーンをくぐらせることで正常な状態に戻ります。
- ・ネジれたままでは装着できなかったり、タイヤをキズ付けることがあります。また、チェーンの寿命が極端に短くなります。

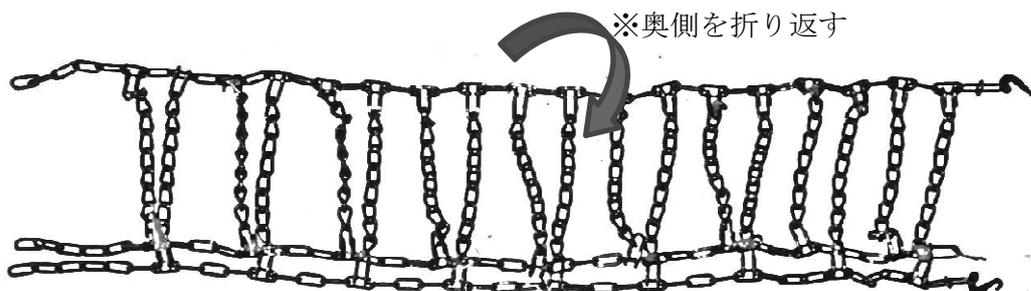
### 3. チェーンの仮締め

#### (1) チェーンの折り畳み

チェーンは重くカラミやすいので、中央のサイドチェーン部分で折り返してタイヤに被せます。

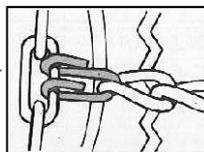
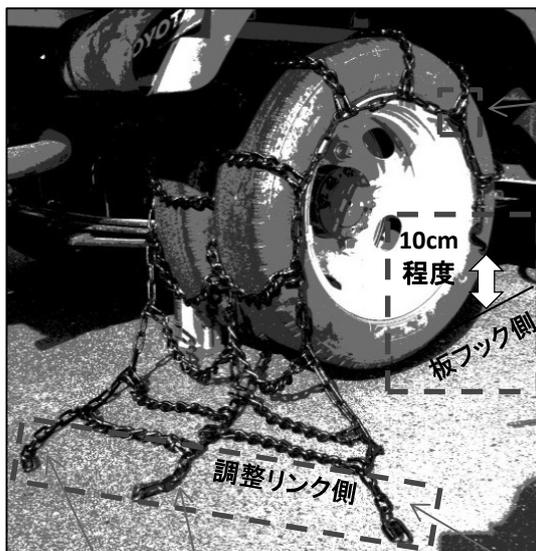
#### アドバイス

- ・奥側のタイヤに被せるクロスチェーンを、手前のタイヤに被せるクロスチェーン側に折り返して下さい。



## (2) チェーンをタイヤに被せる

手前のタイヤに被せた後に、折り返したチェーンを元に戻して奥のタイヤにも被せてください。チェーンの取り付け位置は、板フック側が路面より10cm程度浮くように調整してください。また、コネクタの折り曲げ部が外向きになっていることも確認してください。



### アドバイス

- コネクタの折り曲げ部が内側（タイヤ面に接する側）になるとタイヤに傷を付けます。

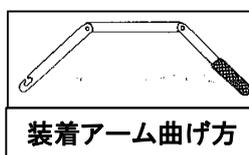
中央調整リンク  
奥側調整リンク  
手前側調整リンク

### アドバイス

- チェーンは、中央⇒奥側⇒手前側の順で締めてください。

## (3) 装着アームの準備

装着アームを曲げて、中央の調整リンク末端に装着アーム先端を引っ掛けます。



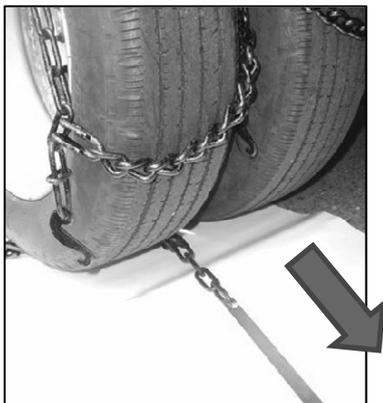
装着アーム曲げ方

### アドバイス

- アーム先端の引っ掛け部の開きが、奥側に向くようにすると作業中に外れにくい。

## (4) 中央調整リンクの移動

タイヤと路面の間に装着アームを通して、中央調整リンクを中央板フック側に引っ張ります。



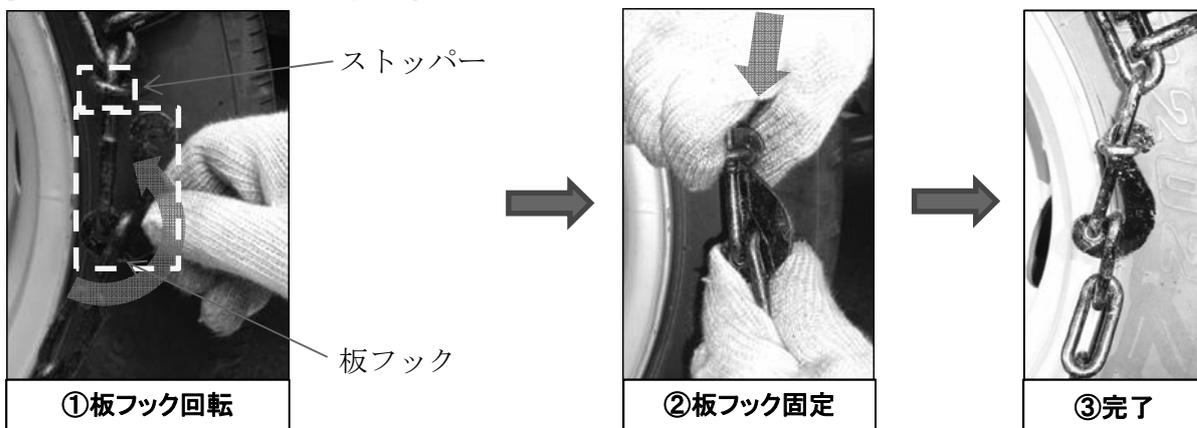
### △ご注意

- タイヤの下に手を入れることは大変に危険です。必ず装着アームを使用してください。

(5) 中央フックと中央調整リンクの仮締め

【スチールチェーン】

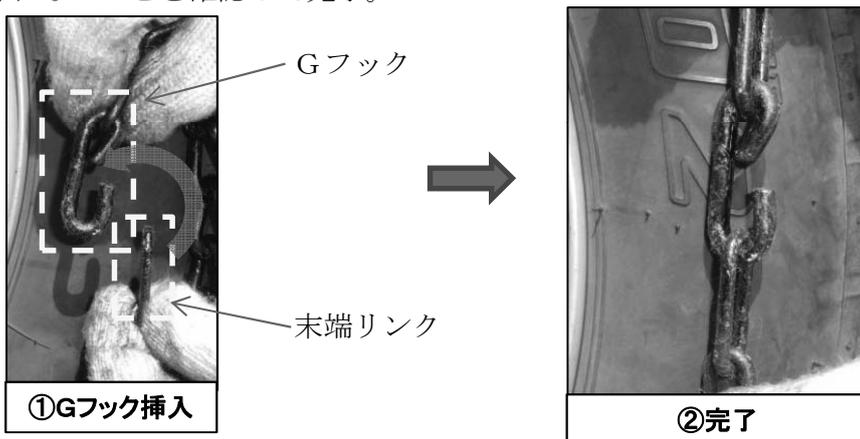
- ①中央調整リンク末端に中央板フックを挿入して回転させる。
- ②ストッパーで板フックを固定させる。
- ③外れないことを確認して完了。



【合金鋼チェーン】

合金鋼チェーンは、中央のフックは板フックではなく、Gフック（線形フック）となっている。

- ①中央調整リンク末端に中央Gフックを挿入する。
- ②外れないことを確認して完了。



アドバイス

- ・トリプルチェーンは中央の板フックが最も仮締め困難であるため一番最初に仮締めしてください。
- ・中央調整リンク末端が中央板フックまで届かない場合は、全てのクロスチェーンとサイドチェーンを手繰ってから中央調整リンクを引っ張り直してみてください。

(6) 奥側と手前側の板フックと調整リンクの仮締め

中央板フックと中央調整リンクの仮締めと同じ手順で、奥側と手前側の板フックと調整リンク末端を仮締めします。

アドバイス

- ・手前側は奥側と比較すると板フックの仮締めが容易であるため、一番最後に仮締めしてください。
- ・調整リンク末端が板フックまで届かない場合は、全てのクロスチェーンとサイドチェーンを手繰ってから調整リンクを引っ張り直してみてください。

## 4. チェーンの増し締め

### (1) チェーンの手繰り

仮締め状態ではタイヤとチェーンが密着していないため、全てのクロスチェーンやサイドチェーンを手繰って、タイヤに対してチェーンが均等な位置になるようにしてください。

### (2) 中央板フックと中央調整リンクの増し締め

テンションが緩い場合、中央調整リンク末端と中央板フックを連結解除して末端リンクの次のリンク（中央調整リンクの2リンク目）と中央板フックを増し締めします。中央調整リンクと中央板フックのテンションが緩い場合は、更に中央調整リンクの3リンク目4リンク目と調整してください。

### (3) 奥側板フックと奥側調整リンクの増し締め及び手前側板フックと手前側調整リンクの増し締め中央同様に緩みがないように増し締めを行ってください。

### (4) なじみ後再度増し締め

50～200mほど徐行運転を行って、異常がないことを確認してチェーンの増し締めをしてください。

#### △ご注意

- ・ 奥側、中側、外側とも余りリンクは同数または、中側の余りリンクが多くなるような状態で緩みのないように調整し、確実に締めてください。

#### △ご注意

- ・ チェーンが緩んでいないか必ず確認してください。ゆるみがある場合、事故につながったり製品の機能阻害、車両故障等の恐れがあります。

## 5. 余りリンクの処置

余りリンクは、あそびのないように必ず針金でしばってください。



針金

あそびのないようにしばる。

### △ご注意

- ・ 余りリンクをしばらず走行すると車体等を破損するおそれがあります。

## 6. チェーンバンド(別売り)取付

バンドのクリップが、等間隔になるようにチェーンバンドを掛けます。



### ▶アドバイス

- ・ サイドチェーンの結び方が緩いと、バンドが効かない場合があります。チェーンバンドを外して、サイドチェーンを結び直してください。

### ▶アドバイス

- ・ クリップの爪が外向きになるように掛けてください。クリップの爪が内向き（タイヤ面に接する側）になると、タイヤ表面にキズが付くことがあります。

## 取り外し方法

取り外しの際には、ジャッキアップの必要はありません。次の手順に従ってください。

### アドバイス

- ・ チェーンを取り外す際には、ケガ汚れ防止のため手袋を使用してください。

- (1) 板フックが斜め（45° 程度右下または左下）の位置になるように車両を止めます。



板フックが45° 程度

### アドバイス

- ・ この位置での操作が、一番スムーズに取り外しを行えます。

- (2) 手前側板フックを外します。
- (3) 奥側板フックを外します。

### アドバイス

- ・ 手前側のチェーンを拡げて、中央のチェーンを緩めておくと操作がスムーズになります。ただし、手前側のチェーンを、内側に落とさないようにしてください。

手前と奥側のフックを先に外す。



手前側のチェーンを拡げて中央のチェーンを緩める。



- (4) 中央板フックを外します。
- (5) チェーンを外側へ引き出します。
- (6) 車両を移動して、取り外し作業は完了です。

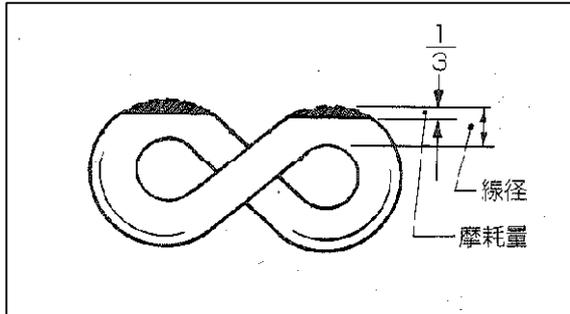
## 使用限度

チェーンは消耗品です。次のような場合は使用しないでください。

- ・ 捻ったクロスチェーンが1か所でも線径の3分の1まで摩耗した場合。
- ・ チェーン本体に1か所でも破損や変形、外れがあった場合。
- ・ チェーンバンドに破損や傷がある場合。

### ⚠️ ご注意

- ・ 使用限度を超えてチェーンを使用すると事故の原因になるおそれがあります。



## 保管方法

長期間使用しない場合は、水洗い後に乾燥させます。そして防錆油などをうすく塗ってからケースに入れて保管してください。

### 🔧 アドバイス

- ・ 使用後はネジレ防止のため、板フックをサイドチェーン末端にかけておいてください。



